

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・ビジターセンター
し ぜ ん き ょ う い く ん

自然教育園だより

◆この冬の見どころ(12~2月)◆

Vol.1 No.3

(2008年 冬号)

2008年12月8日 発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688



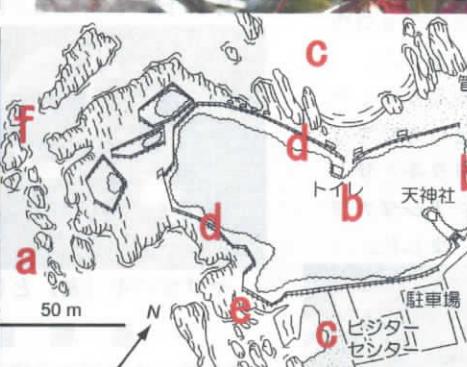
ウミスズメ



ツルオオバマサキ



ヤブツバキ



ウミアイサ



タイトゴメ

天神島臨海自然教育園

冬は空気が澄んでいるため、相模湾越しの風景を楽しむ良い時期です。富士山や丹沢、遠くは南アルプスの山々も見えることがあります。日中あまり潮が引かないため、海中の生き物の観察には適しませんが、冬にしかみられない野鳥や海藻などが観察できます。植物の冬越の姿や海岸の打ち上げ物の観察も面白いでしょう。

観察マップ :

写真のa~fを図上に示しています。



センリヨウヒ
真っ赤な実をつけます。



コサギも下の池に来ます。学習棟の窓から見られます。

生き物が活発ではない時期ですが、冬の林は落葉樹の葉が落ちて見通しが利き、鳥の観察に適しています。また、この時期に色あざやかな実をつける植物も見どころの一つです。年によって違いがありますが、トウキョウサンショウウオの産卵は2月下旬~3月上旬に見られる予定です。



トウキョウサンショウウオは卵になった卵のうを産みます。

馬堀自然教育園



◆自然教育園ガイド◆

天神島と笠島の岩礁は、およそ500万年前に海底で堆積した三浦層群三崎層という地層からできています。水深2000~3000mの海底で堆積したこの地層は、長い時間をかけて地殻変動によって隆起し、現在は天神島と笠島の地盤を作っています。今回は天神島と笠島で観察できる地層と地形について紹介します。

海食台：天神島や笠島は、比較的平坦な岩礁から出来ています。これは、かつて海底で波の浸食によって平らな地形が作られ、それが地震で隆起したためで、海食台と呼ばれます。



天神島の岩礁

竪穴（おうけつ）：天神島の岩場には、直径数十cmから1m程度の穴を見つけることができます。これは岩場の小さな割れ目に小石などが入り

「天神島臨海自然教育園の地形と地質」

込み、波によって小石がくぼみの中を転がって、穴を大きく広げたために作られたものです。ポットホールとも呼ばれます。

スコリア凝灰岩とシルト岩：天神島を作るおもな岩石は、黒っぽいスコリア凝灰岩です。凝灰岩とは火山灰が固結したもので、スコリアとは黒っぽい火山灰のうち多孔質（小さな穴がたくさんあること）のものを言います。そのほかにも、シルト岩（直径1/16~1/256mmの泥が固まつたもの）も見られます。

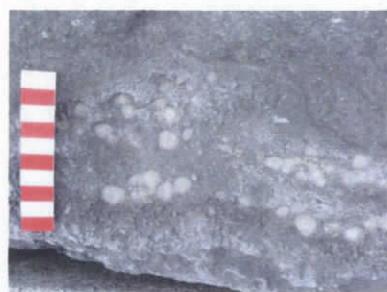
差別浸食：天神島の岩礁には縞模様（地層）が見られ、その模様に沿って岩がでこぼこしています。これは地層を作るシルト岩とスコリア凝灰岩のうち、やわらかいシルト岩が選択的に波で浸食されたためです。



地層の傾き

地層の傾き：地層は通常水の中で堆積するため、水平な地層が作られます。しかし、天神島や笠島の地層は南西方向に40度程度傾いています。これは、深海に堆積した地層が、地殻変動によって陸上まで持ち上げられる過程で、もともと水平だった地層が傾いてしまったためです。

火山豆石：天神島では、地層の中に火山豆石が見られます。火山豆石とは、火山灰が噴煙の中で球状に固結したものです。天神島の地層ができた場所の近くには、活動的な火山があつたと考えられます。



火山豆石

天神島ビジターセンターでは、2009年3月29日まで企画展示「天神島周辺の地質」を開催しています。あわせてご覧下さい。（柴田記）

◆特別展示ニュース◆

特別展示 「三浦半島の海藻」

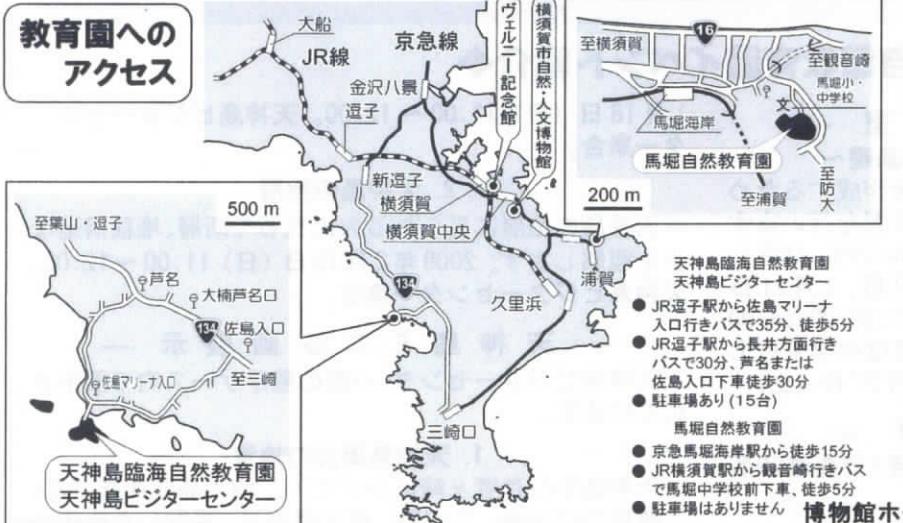
三浦半島の沿岸には約350種の海藻が分布しています。この特別展示

では三浦半島沿岸の海藻の多様性・生態・微細構造を4000点を超える海藻標本やビデオ映像・顕微鏡でご覧いただきます。2009年3月1日~5月31日。博物館本館特別展示室。関連

行事として、展示解説は3月1日（日）と3月7日（土）、講演会「日本の海藻」は3月7日（土）、いずれも博物館本館。観察会は3月14日（土）10:00~15:00、天神島臨海自然教育園。

◆横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園◆

教育園へのアクセス



- JR逗子駅から佐島マリーナ入口行きバスで35分、徒歩5分
- JR逗子駅から長井方面行きバスで30分、芦名または佐島入口下車徒歩30分
- 駐車場あり(15台)

馬堀自然教育園

● 京急馬堀海岸駅から徒歩15分

● JR横須賀駅から観音崎行きバスで馬堀中学校前下車、徒歩5分

● 駐車場はありません

博物館ホームページ

<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>

馬堀自然教育園

〒239-0802

横須賀市馬堀町4-10-3

TEL 046-841-5727

天神島臨海自然教育園

(ビジターセンター)

〒240-0103

横須賀市佐島3-7-3

TEL 046-856-0717

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95

TEL 046-824-3688

FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始

開館・開園時間 9:00~17:00

(自然教育園 10~3月は16:30まで)

◆自然教育園をご利用の際の注意◆

①動植物の採集はできません。

②ペットを連れての入園・レジャー用品の持ち込みはご遠慮ください。

10月4日 カラスウリの実が色づいていました。上の池でヤブヤンマとオオシオカラトンボのヤゴを見ました。

10月10日 下の池でヒヨドリが水浴び。エナガ数羽が鳴きながら移動してました。

10月17日 下の池にジョウビタキのオスが来ていた。

10月21日 カントウカンアオイが咲いていました。

10月26日 ハゼノキの根元のミツバチの巣のそばで、トビズムカデがミツバチを食べていました。

10月28日 下の池にコサギが飛来。コウヤボウキが開花。

11月9日 サネカズラとセンリョウの実がそれぞれ赤く熟

していました。

11月20日 オオハナワラビが胞子を飛ばしました。下の池にアオサギが飛来。スマジイにアオゲラがいました。



カラスウリ (10/4)



トビズムカデ (10/26)

◇博物館行事レポート◇ (田中 記)

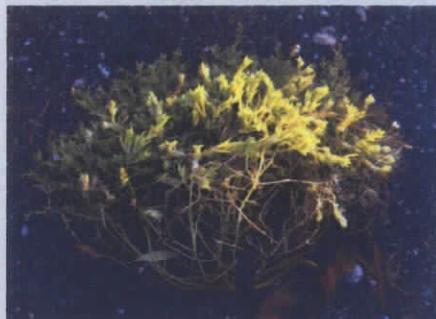
天神島めぐり「海浜植物—秋—」

(10月20日・参加者6名)

さわやかな天気にめぐまれました。

天満宮の樹林でミツバアケビの実を食べたり、ヘクソカズラの臭いをかいだり、ヤブツバキとヤブニッケイの実などを観察したりしました。自然教育園では、ハマオモト、ハマボウ、ケカモノハシ、ハマダイコン、タイトゴメ、ハマグルマ、オカヒジキ、ハマカンゾウ、テリハノイバラ、ハママツナ、ホコガタアカザなどを観察しました。また、ハマスグの小穂やツルナの葉の裏などをルーペで観察しました。波打ち際に生えるハママツナの葉は、かじるとしょっぱい味がしました。オナモミとオオオナモミの実(ひつつき虫)を比較したり、ハマゴウの実の香りを楽しみました。目立つ花が少ない時期でしたが、実や生育の仕方など、普段気づかないようなことを堪能できました。植物以外では、キアシシギやア

オサギなどの野鳥や、ハマオモトトウの幼虫なども観察することができました。



ハママツナ



笠島ではこんなにゴミが集まりました!

「森と草原を育てよう」

(11月6日・参加者6名)

笠島は自然保護の目的で上陸が禁止されていますが、海からゴミが漂着するため、清掃作業のために特別に上陸しました。晴れて風もなく海も穏やかで、作業には絶好の天候でした。

上陸後、各自ゴミの種類ごとに分担を決めて拾い集めました。集まったゴミの量は、不燃ごみ 34.5 kg (40L のポリ袋に 5 袋相当)、ビン・缶・ペットボトル 12.4 kg (同 5 袋相当)、容器包装プラスチック 7.0 kg (同 5 袋相当)、合計で 53.9 kg になりました。作業の後、笠島に生育している植物の観察をしました。天神島ではみられないイソギクの花が見頃を迎えていました。

行事後に職員でゴミの洗浄・選別作業を行いました。リサイクルに欠かせないこの作業に、のべ 16 時間かかりました。海のゴミを拾うことは多大な時間とコストがかかることを、あらためて実感しました。

◆自然教育園イベント紹介◆

一 博 物 館 教 室 一

1. 地層を調べよう～地質調査の基礎～

三浦半島をつくる地層を調べ、地質図を作成するための基礎を学びます。室内の作業と野外の実習を行いますが、今年度はクリノメーターの使い方を重点的に学習します。2009年1月10日、1月24日、2月7日、2月21日(各土) 10:00-12:00 および3月7日(土) 10:00-14:00 の連続5回。天神島臨海自然教育園。対象は中学生以上10名。野外保険料各回50円。締切: 12月27日(土)。

一 天 神 島 め ぐ り 一

対象は小学生以上(小学生は保護者同伴)で先着20名(事前申込不要)。野外保険料50円。

1. 冬の海鳥

冬の相模湾沿岸には北方から海鳥が冬越しのためにやってきます。天神島臨海自然教育園にも、毎年たくさんの海鳥がえさ探しや休息のためにやってきます。これら冬の海鳥について観察と解説をします。2009年

1月18日(日) 11:00~12:00。天神島ビジターセンター集合。

2. 天神島の地層

天神島の地層に見られる火山豆石や断層、堆積構造などを観察します。2009年2月15日(日) 11:00~12:00。天神島ビジターセンター集合。

一 天 神 島 ミ ニ 企 画 展 示 一

天神島ビジターセンター1階の展示ケース内で展示されています。

1. 天神島周辺の地質

天神島から長者ヶ崎にかけての三浦半島北西部では、三崎層や逗子層、立石層、葉山層など、異なる時代の地層が複雑に分布しています。また、秋谷周辺の海岸からは子産石(ノジュール)が産出し、安産のお守りとされています。この企画展示では、これらの地域の地質について、子産石を含む岩石資料や空中写真を交えながら紹介します。10月11日(土)~2009年3月29日(日)。

自然教育園ギャラリー



← 天神島では珍しいムナグロ。
渡り鳥です。
(10/11・天神島臨海自然教育園)



→ オオキンカメムシ。
(10/4・天神島臨海自然教育園)

◆自然教育園での出来事 (2008年9-11月)◆

一 天神島臨海自然教育園 一

9月12日 キタテハがカナムグラに産卵していました。モンキアゲハが林の中を飛んでいました。イチモンジセセリがハマユウの蜜を吸っていました。ジョロウグモとコガタコガネグモが巣を張っていました。

9月13日 キジバトがタカ類に襲われた痕跡がありました。

9月14日 モチノキの実が熟しました。ハラビロカマキリがいました。ハマボウなどの枝にカネタタキとサトクダマキモドキがいました。管理棟内にアシダカグモが、外壁にモリチャバネゴキブリがいました。



サトクダマキモドキ(左)とカネタタキ(右)(9/14)

9月21日 ハマゼリにキアゲハの幼虫がいました。

9月25日 天神島はじめてアカボシゴマダラを見ました。

9月28日 テリハノイバラとマルバアキグミの実が色づきはじめました。

10月2日 ヒヨドリの6羽の群れを見ました。海上を渡るサシバの群れを見ました。ハヤブサが飛んでいました。アカメガシワにオオキンカメムシがいました。

10月4日 ピロウドハマキがいました。



アカボシゴマダラ(9/25)

ピロウドハマキ(10/4)

10月10日 ヤブツバキの実が割れ始めました。ミツバアケビの実が熟しました。

10月11日 ムナグロ2羽がいました。

10月26日 ユリカモメとタヒバリを見ました。

10月30日 キヅタ開花。ジョウビタキを見ました。

10月31日 エビガラスズメをみました。ヤツデが開花。

11月2日 アオジ3羽を初認しました。

11月6日 笠島でイソギクが花ざかり。

11月8日 ハマボウの葉が黄色に色づき始めました。

11月14日 ツグミの初認。アサギマダラを1頭見ました。

11月15日 シロダモが開花しました。



ヤブツバキ(左)とミツバアケビ(右)の実(10/10)

一 馬堀自然教育園 一

9月5日 サワガニが稚ガニを腹に抱えていました。

9月10日 アカボシゴマダラを見ました。

9月13日 コゲラを見ました。オオカマキリがいました。

9月14日 アキアカネ6匹が下の池を飛んでいました。ゲンノショウコが花ざかりでした。

9月23日 マテバシイのドングリがたくさん落ちました。

9月24日 ドクツルタケの一一種が生えていました。

9月26日 メジロが熟れたカキの実をついばんでいました。



サワガニと稚ガニ(9/5) ドクツルタケの一一種(9/24)

9月27日 クサギカメムシがイヌビワの実を吸っていました。

9月28日 朝、上の池でキセキレイを見ました。

10月1日 上の池でヤブヤンマを見ました。

10月2日 園路近くでクロヤツシロランが咲いていました。

10月3日 キタテハがセイダカアワダチソウにいました。



クサギカメムシ(9/27)



キタテハ(10/3)